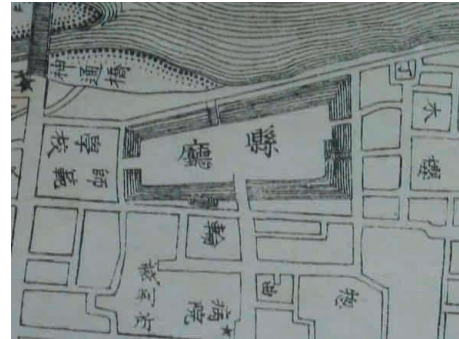




富山県庁

明治33年に城址に再建された県庁舎。昭和5年に焼失しました。



明治34年の城址

周囲を堀で囲まれた県庁敷地

**こんなこともありました その4**

明治32年、富山城址で関西府県連合共進会を開催することになり、県庁が山王町に、日枝神社が城址に移されました。共進会終了後は公園として整備する予定でした。ところが、同じ年の8月、開催直前の大火により県庁も日枝神社も、そして旧本丸御殿も焼失してしまいました。その結果、共進会場は堀川村（現在の富山高校敷地）に移され、県庁と日枝神社も元の場所に戻されました。城址は県庁敷地に戻ったのです。

なお、旧西之丸には明治32年まで監獄署（現在の刑務所）が置かれていました。同16年、西側の堀に土橋が架けられたのは、監獄署の出口とするためです。また、本丸と西之丸の間の堀は、同25年までには埋め立てられたようです。その後、旧西之丸は旧本丸と合わせて管理され、監獄署移転後には県会議事堂が建てられました。



旧西之丸の監獄署

廃藩置県の際、富山藩の牢獄（後の監獄署）が旧西之丸に移されました。



富山県会議事堂

明治42年に皇太子（後の大正天皇）行啓記念事業として建設されました。